

中小企業における後継者問題

【都道府県別ランキング】

■ 全体の後継者不在率

順位	都道府県	今回調査
1	沖縄県	82.9%
2	鳥取県	76.0%
3	山口県	74.7%
4	広島県	73.1%
5	北海道	72.9%
6	神奈川県	72.4%
7	島根県	70.9%
8	大阪府	69.4%
9	秋田県	69.0%
10	大分県	68.8%
11	滋賀県	68.3%
12	岩手県	67.8%
13	京都府	67.7%
14	埼玉県	67.6%
15	愛知県	67.4%
16	宮城県	67.4%
17	福岡県	67.2%
18	岐阜県	66.7%
19	山梨県	66.4%
20	東京都	66.3%
21	千葉県	65.1%
22	長野県	64.6%
23	福島県	64.5%
24	長崎県	62.9%
25	兵庫県	62.9%
26	山形県	62.2%
27	群馬県	62.2%
28	愛媛県	62.0%
29	岡山県	61.8%
30	奈良県	60.7%
31	富山県	60.4%
32	青森県	60.3%
33	静岡県	58.8%
34	高知県	58.5%
35	新潟県	58.2%
36	栃木県	58.1%
37	福井県	56.8%
38	三重県	53.5%
39	石川県	53.5%
40	宮崎県	50.1%
41	鹿児島県	50.0%
42	徳島県	49.0%
43	佐賀県	48.9%
44	茨城県	48.3%
45	熊本県	47.8%
46	香川県	46.1%
47	和歌山県	43.0%
—	全国平均	65.2%

(出典: 帝国ニュース山陰版 12月23日号より)

日本企業数の99.7%、国内雇用者数の76.8%を占め、日本経済を支えてきたのは『中小企業』ですが、昨年、経済産業省からショッキングな試算が発表されました。

2025年までに後継者不在のため、多くの中小企業が廃業する見通しで、その結果、2025年頃までに650万人の雇用と約22兆円分のGDP(国内総生産)が失われる見通しだということです。

5年後には全経営者の64%が70歳以上になり、245万人の経営者が、リタイアの時期を迎え、そのうち2/3が経営者の後継不足。そのうち60歳以上の経営者の7割は「自分の代で事業をやめる」考えだということです。しかも廃業する企業の半数は「黒字」です。

こうした中小企業の休廃業が相次げば地域経済の衰退や雇用喪失を招きかねないとして、国や県が中心となって事業継続への支援を強化するなど、日本企業の後継者問題は官民ともに喫緊の課題となっています。

鳥取県においても後継者不在率は76%で都道府県別で全国第2位です。(前年の調査に比べて3.7ポイント上昇)

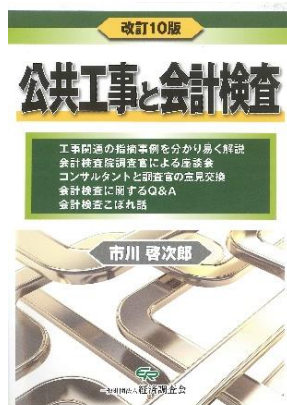
鳥取県の4社に3社以上の企業が後継者不在なのです。業種別では『サービス業』が79.4%で次いで、『建設業』が76.6%、『卸売業』が76.6%、『小売業』が75.2%、『製造業』は74%。

売上規模別では『1億円未満』が82.4%で8割を超える。次いで、『100億円以上』が77.8%、『1億円～10億円の未満』が74.7%、『10億円～100億円未満』が74%で続きました。

後継者問題は人口減少問題よりも「待ったなし」で、今後は中小企業に対する税制面での優遇や、銀行融資に対する経営者の個人保証を外す点など行政からの支援が急がれます。

※(前年に続いて、沖縄県が全国1位になった原因は、計算上沖縄県企業の約2.3社に1社が創業企業で、ベンチャー企業をはじめとした創業年数が比較的若い企業や、沖縄県の本土復帰に伴い創業した企業が多く、他地域に比べ事業継承を経験した機会が比較的少ないことが背景にあると考えられる)





会 計 検 査

『公共工事と会計検査』の改訂 10 版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。

一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎(いちかわ けいじろう)氏は昭和19年生まれ。

元会計検査院 国土交通総括検査室長を務められていました。

会計検査こぼれ話：最初の…

私は、溪流釣りが好きで、群馬県や栃木県の山奥に行き、イワナやヤマメを探し求めて溪流を釣り歩きます。イワナは、餌の少ない源流にいるせいか、とても貪欲で、釣り餌に食いついたら放そうとはしません。ただし、イワナが貪欲だとは言っても、釣り人の姿を見つければ、岩陰に姿を隠してしまい、釣り餌に食いつこうとはしません。また、イワナの生息域よりも下流で比較的餌の多いところにいるヤマメはとても警戒心の強い魚で、釣り餌に食いついても何か不自然だと感じると、すぐに放してしまいます。ヤマメを釣るには釣り餌に食いついた瞬間、餌を放す前に釣り上げなければなりません。イワナにしてもヤマメにしても、理屈では釣り方が理解出来ていても、実際にやってみると、早朝から昼まで半日釣り歩いても、釣果は多くて10匹程度、釣れない日はボーズ（1匹も釣れないこと）という日もあります。釣り人にとって、ボーズは、屈辱以外の何物でもありません。だから、その日にまず最初の1匹が釣れた時には、「今日はボーズにならずに済んだ」ということで、ホッとします。

会計検査院の仕事は、今はチームで取り組むことが多くなりましたが、以前は、出張に赴いて指摘事項を見つけた調査官が、上司の指示を仰ぎつつ、決算検査報告（指摘に係る最終報告書）に、まとめ上げます。したがって、出張時に指摘事項を見つけることが出来なかった調査官は、まとめ上げる時期が来ても、仕事にあぶれてしまいます。周りの調査官が皆忙しそうに仕事をしているのに、自分だけ仕事がないというのは屈辱以外の何物でもありません。そうならないように、調査官は、出張時に一生懸命、指摘事項を見つけようとします。そして、その調査官にとって最初の指摘事項を見つけた時には、「今年は失業せずに済みそうだ」ということで、ホッとします。会計検査院の調査官は、納税者である国民のために、税の無駄遣いを見つけて、無駄遣いが1円でも減るようと、一生懸命に仕事をしているわけですが、そのような側面と同時に、失業したら困るというような、現実的な側面も持っているのです。（H.N）





レオ

ちゃんの製品紹介コーナー



テールアルメの維持管理



こんにちは、レオちゃんです☆

今月は、補強土壁『テールアルメ工法』の維持管理についてご紹介します！

テールアルメ工法とは、崩壊しようとする土粒子自体を帯状鋼材(ストリップ)との摩擦力で拘束し、安定させ、土の持つ柔軟性はそのままに、垂直で安定した土構造物を構築することが出来る工法です。

この度、日本テールアルメ協会様のホームページにテールアルメの維持管理や点検についての歩掛が詳しく記載された目視点検歩掛、標準見積が掲載されました。

今回は、歩掛の元となる維持管理ガイドラインと、テールアルメを使用する際に維持管理・点検が容易になる「テールアルメFS」をご紹介しますので、ぜひご覧ください♪

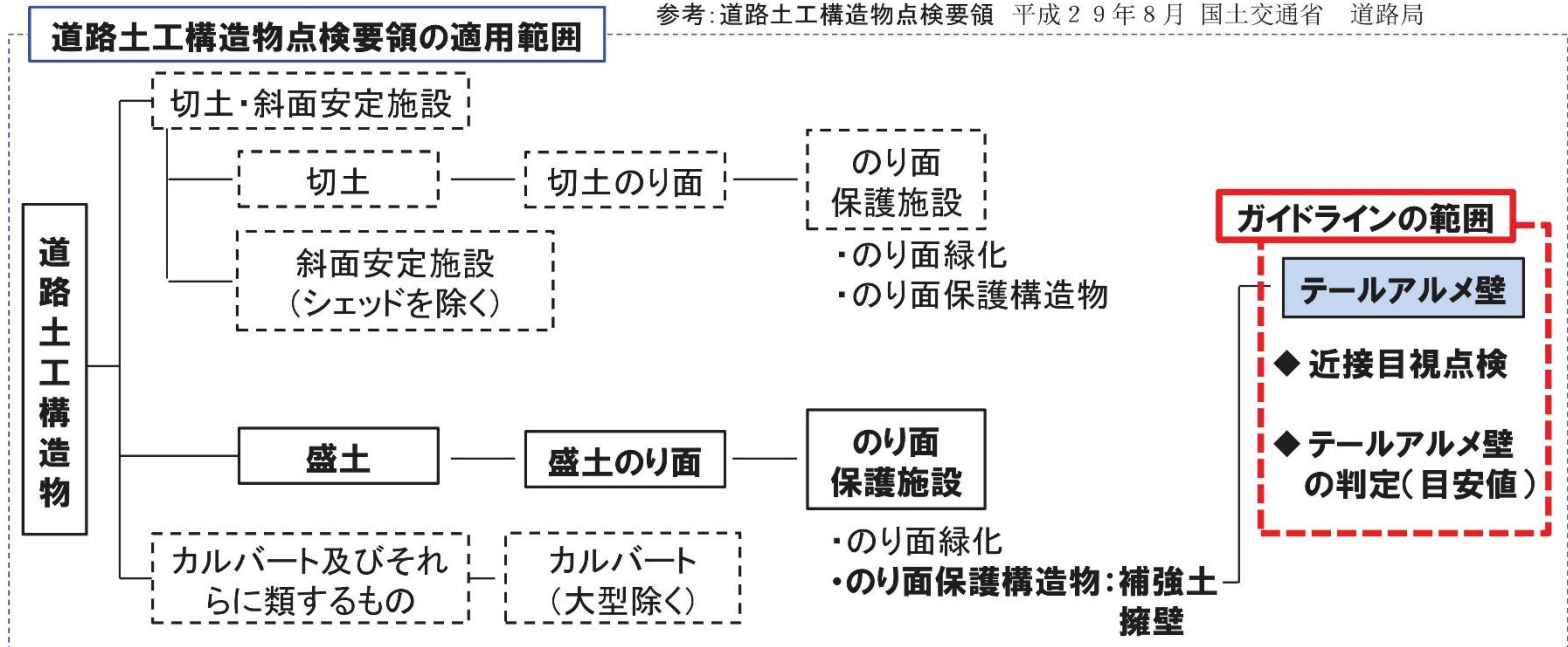
一般社団法人
日本テールアルメ協会
http://www.japan-ta.com/
JFE商事 テールワン 株式会社
JFE http://www.terrearmee.com

TA協会

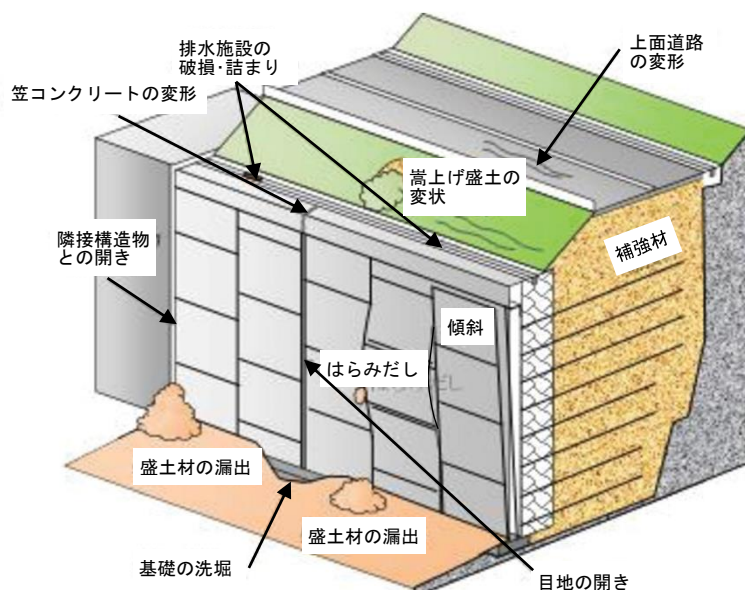
維持管理ガイドライン 目視点検編 (H31.4) 策定

【維持管理ガイドラインの位置付けと判定の目安】

参考:道路土工構造物点検要領 平成29年8月 国土交通省 道路局



※目視点検は技術者が行い、調査報告書を作成します。



テールアルメ壁の判定区分 (目安値)

VI	完全に崩壊または大変形し、構造物としての機能を有していない
V	比較的に大きな大変形・損傷をしたが、構造物としての機能は当面維持可能
IV	部分的に変形・損傷し安定性は損なわれたが、構造物としての機能は当面維持可能
III	全体が大変形したが、構造物の安定性に大きく影響しない
II	部分的に変形・損傷したが、構造物の安定性に大きく影響しない
I	変形・損傷なし

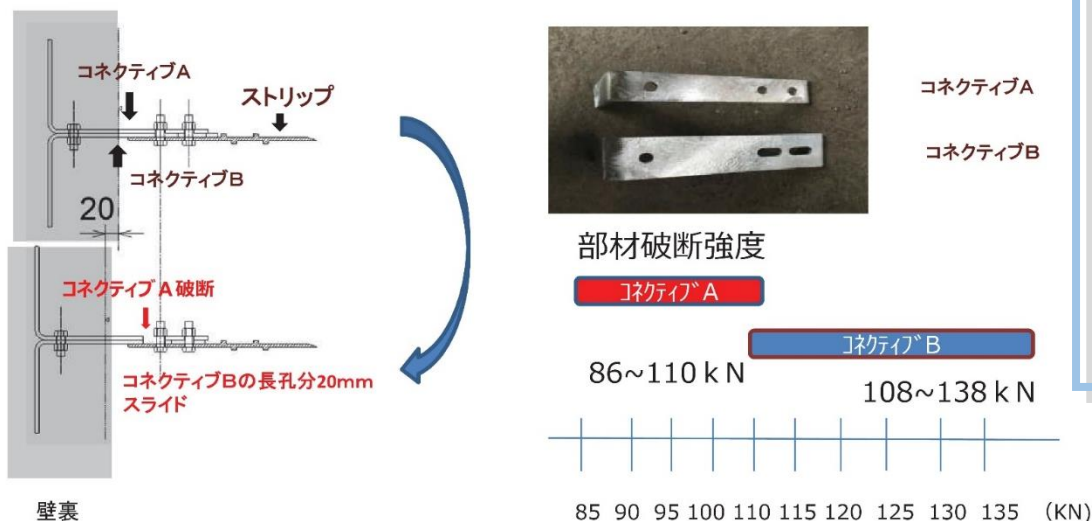
『テールアルメFS』のご紹介

テールアルメFSは、維持管理を追求した新しいテールアルメです！

安全性を確保したまま調査・措置が可能となります！

国土交通省新技術情報提供システム(NE T I S)
登録済 QS-170031-A

◆安全性を維持するフェイルセーフ(Fail Safe)機能◆

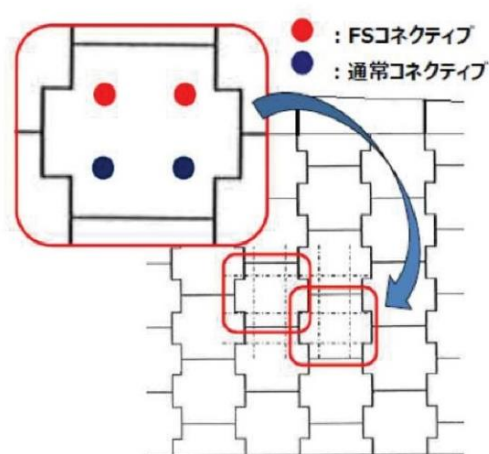


- ①FSコネクティブは、A、Bと強度の違う2つの部材で構成
- ②コネクティブの強度が異なるため、強度の弱い部材(A)から破断する
- ③強度の弱い部材(A)の破断後は、強度の強い部材(B)がコネクティブとして機能を引き継ぐ
- ④強度の強い部材(B)のボルト孔は長孔となっており、③の破断後にコネクティブの機能を引き継ぐ前に意図的に壁面に変位を生じさせる

※コネクティブ・・・コンクリートスキン(製品)にストリップを連結させるため、あらかじめ埋め込まれた接続用の金具

◆内部異常を可視化するフェイルセンサー(Fail Sensor)機能◆

FSコネクティブの配置



詳しくは、
日本テールアルメ協会 様
JFE商事テールワン株式会社 様
へお問い合わせください♪



壁面材の上段側コネクティブに
FSコネクティブを配置

壁面材の前傾・段差を検知

テールアルメFSの設置状況



第26回 建築・建材展2020 に出展します！！

3月3日(火)～6日(金)に東京ビッグサイトで行われる『建築・建材展2020』に出展します。

この展示会へのご入場は、招待券の持参・または公式ホームページからの事前登録が必要となります。

弊招待券をご用意しておりますので、必要な方は下記メールアドレスか、ホームページの【お問い合わせ】よりお申し込み下さい。

ご来場、お待ちしております★

<URL><http://www.kooge.jp/>

<e-mail>info@kooge.jp